

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

平成30年12月14日（金）

2 確認箇所

- ・モニタリングポストNo. 6 付近(新事務本館付近)
- ・大芋沢水路付近

3 確認項目

- (1) 敷地境界連続ダストモニタ二重化の実施状況
- (2) コンクリート型枠撤去作業中における負傷者発生現場の状況

4 確認結果の概要

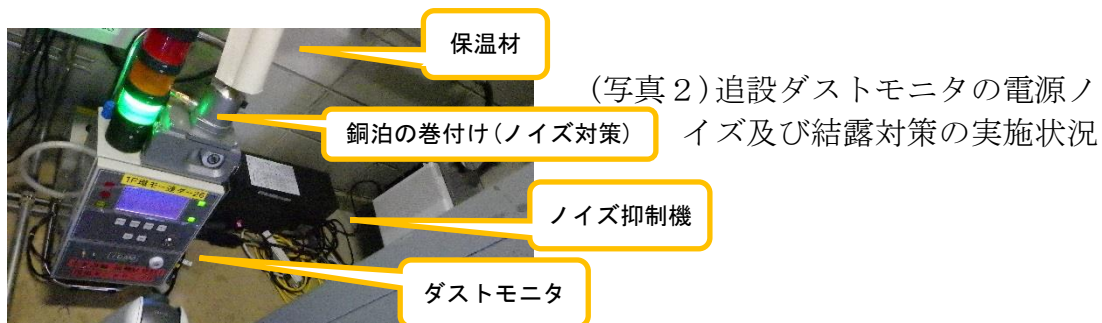
(1) 敷地境界連続ダストモニタ二重化の実施状況

平成28年から平成29年にかけて、電源ノイズや結露等の影響による機器異常や天然核種の影響による敷地境界連続ダストモニタの高警報が頻発した。このため、モニタリングポスト用局舎内に設置した連続ダストモニタにおける電源ノイズ対策や結露対策を実施するとともに、ダストモニタの二重化を進めてきており、この度、全測定局における二重化が完了したことから、モニタリングポストNo. 6 付近における二重化の状況及び電源ノイズ対策等の実施状況を確認した。

- ・電源の強化工事が完了し、局舎内にダストモニタが追設されていた。
(写真1・2)
- ・既設のダストモニタ及び追設されたダストモニタには、電源ノイズ対策、結露対策が講じられていた。(写真2)



(写真1) モニタリングポスト用局舎No. 6 外観。赤丸内は追設されたダストモニタの採取管。局舎の右側面には同様に既設ダストモニタの採取管がある。

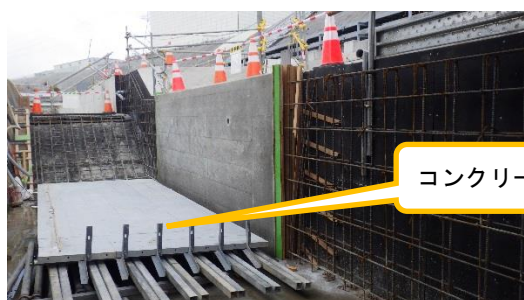


(写真2) 追設ダストモニタの電源ノイズ及び結露対策の実施状況

(2) コンクリート型枠撤去作業中における負傷者発生現場の状況

本日、7時30分頃、大芋沢水路復旧工事に従事していた作業員が両足を骨折したことから現場を確認した。

- ・コンクリート型枠は水路の中に倒れており、その重さは数百kgである。パイプサポートを外している作業中、ほぼ外し終わった時に倒れたとのことであった。(写真4)



(写真4) コンクリート型枠が倒れている状況。大きさは約5m×約2m。

コンクリート型枠



(写真5) 参考として同水路上流側でパイプサポートが機能している状況を撮影

コンクリート型枠

パイプサポート

5 プラント関連パラメータ等の確認

各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。